

義講で三つの分野専門

秋田職能短大公開講座

市民がものづくり学ぶ

地域住民に大学を身近に感じてもらうと毎年開催。3日間テーマを変えて、講師陣が各専門分野について講義を行った。

4日は平和基講師が指導した。木材の表面を薄く削るかなんについて「細かい作業をする、精度の高い物を作るには必ず必要になる」と説明。かなな削りの技術を競う大会

では「世界記録（の薄さ）は1秒。とても奥深い世界」と紹介した。

扱い方については「かななは刃よりも台が大事。裏面はたたかないのが鉄則」と教えた。「繊細な道具なので微調整が大事になる」とし、刃の外し方や入れ方も伝えた。

その後、参加者は実際に木材を削り、箸作りに挑戦。集

中しながら、真剣な表情で取り組んでいた。

参加者について教わるかななの扱い方（秋田職能短大）

2日は「やってみよう3Dモデリング」、6日は「みんなができるマイコンプログラミング」と題して開催した。

大館市の秋田職業能力開発短期大学校で2、4、6の3日間、公開市民講座が開かれた。4日は「木の削り方（かなな削り）」をテーマとし、市民8人がかななの特徴や扱い方などを学んだ。

